

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和04年01月28日

計画の名称	下水道施設総合地震対策計画重点計画（防災・安全）												
計画の期間	令和04年度～令和08年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	吉田町												
計画の目標	吉田町下水道総合地震対策計画により、予想される南海トラフ巨大地震への対策を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	210	A	210	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R4当初)	中間目標値 (R6末)	最終目標値 (R8末)
1	平成9年度以前に布設した重要な幹線等の耐震化率を98%から99%に向上させる。 平成9年度以前に布設した重要な幹線等の耐震化率 耐震化率（%）＝ 耐震化済延長（km） / 平成9年度以前に布設した重要な幹線等の延長（km）	98%	98%	99%
2	吉田浄化センター（処理場施設土木構造物）の耐震化率を37%から43%に向上させる。 吉田浄化センター（処理場施設土木構造物）の耐震化率 耐震化率（%）＝ 耐震化済施設 / 処理場施設	37%	43%	43%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名	事業内容	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接				(事業箇所)	(延長・面積等)		R04	R05	R06	R07	R08			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	吉田町	直接	吉田町	管渠 (改築	吉田処理区管路耐震 (地	管渠補強	吉田町	■	■	■	■	■	90		策定済
下水道事業	A07-002	下水道	一般	吉田町	直接	吉田町	終末処	新設	処理場施設自家発電設備	自家発電設備設置 1基	吉田町	■	■	■			120		策定済
											小計						210		
											合計						210		

(参考図面)

計画の名称	下水道施設総合地震対策計画重点計画(防災・安全)		
計画の期間	令和4年度 ~ 令和8年度	交付対象	吉田町



A07-001 吉田処理区管路耐震
(地震対策)

A07-002 処理場施設
自家発電設備設置

凡例	
	全体計画区域
	事業計画区域
	整備済箇所(～R2末)
	整備箇所(R3)

事前評価チェックシート

計画の名称： 下水道施設総合地震対策計画重点計画（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性）が図られている。	○
I. 目標の妥当性 重要防災拠点施設の位置づけが妥当である。	○
I. 目標の妥当性 下水道BCPへの対応が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 計画の目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標が分かりやすいものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 被災時に重要防災拠点施設において救護活動等を実施する見込みが高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業実施のための環境整備が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 ）地元の機運（住民との連携等による事業効果の実現）が確保されている。	○